



## 平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 アドバネクス

コード番号 5998 URL <http://www.advanex.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柴野 恒雄

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役最高財務責任者 (氏名) 大野 俊也

TEL 03-3822-5865

四半期報告書提出予定日 平成27年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	4,893	△29.3	150	△33.4	151	△12.2	94	△14.5
27年3月期第1四半期	6,922	5.7	226	4.8	171	△25.6	110	△41.9

(注)包括利益 28年3月期第1四半期 304百万円 (420.2%) 27年3月期第1四半期 58百万円 (△86.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	2.29	2.28
27年3月期第1四半期	2.66	2.65

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第1四半期	16,626	7,126	42.7	173.49
27年3月期	16,554	7,032	42.3	169.29

(参考)自己資本 28年3月期第1四半期 7,096百万円 27年3月期 7,002百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	—	—	3.00	3.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	35.00	35.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成27年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施する予定であるため、平成28年3月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。(株式併合を考慮しない場合は、3.5円となります。)

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
第2四半期(累計)	9,500	△33.4	360	△28.4	350	△19.4	210	5.11
通期	19,800	△32.9	880	△18.6	860	△13.4	550	2.8
								133.71

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成28年3月期通期の業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮しております。(株式併合を考慮しない場合は、13.37円となります。)

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期1Q	41,533,708 株	27年3月期	41,533,708 株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	627,307 株	27年3月期	168,166 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期1Q	41,133,874 株	27年3月期1Q	41,456,476 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における経済環境は、海外では、米国が穏やかな景気拡大を続けておりますが、一方、中国では不動産市場の低迷に加えて株式市場の大幅な下落で景気減速の懸念が高まっており、また、欧州では景気持ち直しの兆しを呈しながらもギリシャ債務問題の先行き不透明感もあります。国内では、原油安及び円安を背景に企業業績が好調で景気は回復基調にあります。当社が関連する分野では、自動車市場は、北米では需要が堅調に推移しましたが、国内では生産台数が前年同四半期を下回りました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、主に平成27年3月31日に第一化成ホールディングス株式会社の全株式を売却しプラスチック事業の大部分が連結対象から除外されたことにより、前年同四半期比29.3%減の48億93百万円となり、営業利益も同様の理由により、前年同四半期比33.4%減の1億50百万円となりました。経常利益は、前年同四半期比12.2%減の1億51百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同四半期比14.5%減の94百万円となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。なお、プラスチック事業は、平成27年3月31日の第一化成ホールディングス株式会社の全株式売却によって重要性が低下したため、当第1四半期連結会計期間より精密ばね事業に統合いたしました。一方、重要性の高い海外事業を含めた地域別管理体制を強化したため、当第1四半期連結会計期間より所在地別セグメントを報告セグメントとすることにいたしました。

なお、前年同四半期との比較は、当第1四半期連結累計期間において用いた報告セグメントのベースで行っております。

## 〔日本〕

プラスチック事業の大部分が連結対象外となったほか、プロダクトミックスの悪化ならびに固定費が増加したことなどにより売上高は前年同四半期比39.3%減の19億76百万円、セグメント損失は57百万円となりました。なお、前年同四半期の精密ばね事業との比較では自動車向けが堅調に推移したことなどにより増収となっております。

## 〔米州〕

自動車向けが好調に推移したほか、AV家電向けが増加しました。これらの結果、売上高は前年同四半期比26.9%増の5億53百万円、セグメント利益は同11.9%増の38百万円となりました。

## 〔欧州〕

医療向けが好調に推移したほか、航空機向けが増加しました。これらの結果、売上高は前年同四半期比45.6%増の6億50百万円、セグメント利益は同115.2%増の85百万円となりました。

## 〔アジア〕

プラスチック事業の大部分が連結対象外となったことにより、売上高は前年同四半期比38.5%減の17億12百万円、セグメント利益は同37.1%減の97百万円となりました。なお、前年同四半期の精密ばね事業との比較では中国、タイで自動車向けが好調に推移したほか、OA機器・携帯電話向けも増加したことなどにより増収となっております。

## (2) 財政状態に関する説明

## 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間の総資産は166億26百万円と前連結会計年度末に比べ72百万円増加しました。

資産の部においては、流動資産合計額が85百万円減少し102億19百万円となりました。主な理由は、受取手形及び売掛金が53百万円、その他の流動資産が33百万円増加しましたが、現金及び預金が1億60百万円減少したことによるものであります。また、固定資産合計額は1億57百万円増加し64億7百万円となりました。有形固定資産が93百万円、投資その他の資産が57百万円増加しました。

負債の部においては、負債合計額は95億円となり、前連結会計年度末に比べ21百万円減少しました。主な理由

は、仕入の増加により支払手形及び買掛金が1億18百万円、賞与引当金が1億18百万円増加しましたが、借入金が2億48百万円減少したことによるものであります。

純資産の部においては、純資産合計額が71億26百万円となり、前連結会計年度末に比べて93百万円増加しました。主な理由は、親会社株式に帰属する四半期純利益94百万円の発生や円安により為替換算調整勘定が1億82百万円増加しました。一方、自己株式の取得により84百万円減少したほか、配当金の支払いにより、1億24百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の通期連結業績予想につきましては、平成27年5月12日に公表しました予想数値に変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,485,433	3,324,876
受取手形及び売掛金	4,474,470	4,528,394
商品及び製品	1,062,636	1,014,734
仕掛品	429,068	472,800
原材料及び貯蔵品	667,793	657,653
繰延税金資産	3,618	6,944
その他	194,548	227,719
貸倒引当金	△12,751	△13,628
流動資産合計	10,304,818	10,219,495
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,105,555	1,098,231
機械装置及び運搬具(純額)	2,104,815	2,151,688
土地	1,015,779	1,040,891
その他(純額)	922,225	951,287
有形固定資産合計	5,148,376	5,242,099
無形固定資産	238,265	244,864
投資その他の資産	863,299	920,505
固定資産合計	6,249,941	6,407,469
資産合計	16,554,760	16,626,964
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,514,598	2,633,193
短期借入金	641,629	632,955
1年内返済予定の長期借入金	1,041,421	1,058,456
未払法人税等	135,626	144,633
賞与引当金	143,069	261,508
災害損失引当金	105,000	113,400
その他	1,038,467	1,052,623
流動負債合計	5,619,813	5,896,772
固定負債		
長期借入金	2,255,918	1,998,834
繰延税金負債	158,395	195,744
環境対策引当金	3,000	3,000
退職給付に係る負債	1,255,778	1,198,376
資産除去債務	39,145	39,199
その他	189,953	168,429
固定負債合計	3,902,191	3,603,585
負債合計	9,522,004	9,500,357

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	256,811	256,717
利益剰余金	5,241,616	5,209,185
自己株式	△24,941	△109,002
株主資本合計	6,473,486	6,356,900
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	125,814	135,605
為替換算調整勘定	570,381	752,571
退職給付に係る調整累計額	△166,805	△148,152
その他の包括利益累計額合計	529,389	740,024
新株予約権	29,879	29,682
純資産合計	7,032,755	7,126,607
負債純資産合計	16,554,760	16,626,964



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	6,922,547	4,893,097
売上原価	5,355,346	3,608,203
売上総利益	1,567,200	1,284,894
販売費及び一般管理費	1,341,007	1,134,300
営業利益	226,192	150,593
営業外収益		
受取利息	4,545	2,692
受取配当金	1,335	1,794
受取賃貸料	31,007	21,843
その他	15,548	3,791
営業外収益合計	52,437	30,122
営業外費用		
支払利息	37,725	12,722
持分法による投資損失	26,877	—
為替差損	24,524	9,556
その他	17,521	7,386
営業外費用合計	106,648	29,665
経常利益	171,981	151,051
特別利益		
固定資産売却益	448	—
その他	19	—
特別利益合計	467	—
特別損失		
固定資産売却損	1,339	375
固定資産処分損	5	167
その他	0	8
特別損失合計	1,345	551
税金等調整前四半期純利益	171,102	150,499
法人税、住民税及び事業税	66,216	52,344
法人税等調整額	△5,373	3,888
法人税等合計	60,842	56,232
四半期純利益	110,260	94,267
親会社株主に帰属する四半期純利益	110,260	94,267

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益	110,260	94,267
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,458	9,790
為替換算調整勘定	△71,787	182,190
退職給付に係る調整額	16,560	18,653
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,884	—
その他の包括利益合計	△51,652	210,634
四半期包括利益	58,607	304,902
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	58,607	304,902

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	日本	米州	欧州	アジア	合計
売上高					
外部顧客への売上高	3,254,210	435,947	446,912	2,785,477	6,922,547
セグメント間の内部売上高 又は振替高	240,463	—	10,034	176,178	426,675
計	3,494,673	435,947	456,946	2,961,655	7,349,223
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△13,110	33,962	39,628	154,815	215,296

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	215,296
セグメント間取引消去	10,896
四半期連結損益計算書の営業利益	226,192

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	日本	米州	欧州	アジア	合計
売上高					
外部顧客への売上高	1,976,368	553,329	650,670	1,712,730	4,893,097
セグメント間の内部売上高 又は振替高	133,520	—	8,789	34,847	177,157
計	2,109,888	553,329	659,460	1,747,577	5,070,255
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△57,726	38,020	85,293	97,343	162,929

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	162,929
セグメント間取引消去	△12,336
四半期連結損益計算書の営業利益	150,593

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## 4. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間から、報告セグメントとして記載するセグメントを変更しております。前連結会計年度までは、精密ばね事業、プラスチック事業で記載していましたが、主として、プラスチック事業を行っていた当社の子会社第一化成ホールディングス株式会社の全株式を平成27年3月31日に売却したことにより、プラスチック事業としての重要性が低下しました。このことにより、重要性の高い海外事業を含めた地域別管理体制を強化したため、当第1四半期連結会計期間より報告セグメントを「日本」、「米州」、「欧州」及び「アジア」に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間において用いた報告セグメントに基づき作成しております。